

# 園内林地や 近郊で見られる野鳥

東京都薬用植物園 元職員  
吉澤政夫

## 【講師略歴】

昭和 44 年 3 月	東京都立農林高等学校 園芸科卒業
昭和 44 年 4 月	昭島電報電話局入社
昭和 45 年 3 月	同社退社
昭和 45 年 4 月	東京都衛生局薬務課 薬用植物園勤務
平成 23 年 3 月	東京都退職
平成 14 年 12 月	森林インストラクター資格取得

## 園内林地や近郊で見られる野鳥



## 野鳥とは

- 野生の鳥の意味で、家禽やペットなどを除いた鳥の総称
- 命名：中西悟堂（1895年－1984年）日本の野鳥研究家・歌人・詩人・天台宗僧侶・日本野鳥の会創立者）

## 各部の名称1



## 各部の名称2



## 観察・識別のポイント

- 1 体の大きさ
- 2 体や翼の形
- 3 体の色や模様
- 4 嘴の形
- 5 尾羽の形
- 6 尾羽や体の動かし方
- 7 飛び方や歩き方
- 8 鳴き声や音
- 9 場所
- 10 季節

## 今回表示した主な野鳥用語

- 全長：くちばしの先から尾羽の先までの長さ
- 翼開長：翼の両端を結ぶ長さ
- 夏鳥：春に南の地域から飛来して繁殖し、秋に南の地域に渡っていく鳥
- 留鳥：一年中同じ地域に留まって生活する鳥
- 冬鳥：秋に北の繁殖地から日本に渡来て越冬し、春に渡っていく鳥
- 漂鳥：季節によって日本国内を移動する鳥

# 園内林地や近郊で見られる 野鳥 50

## ○ 多摩地域やその近郊で見られる野鳥の種類

213種（外来種を除いた1977年～1999年の観察記録）

出典 別冊 多摩の鳥 日本野鳥の会奥多摩支部  
2001年5月1日発行

本日はこの中から勝手に選んだ野鳥50種を紹介します  
順序は日本鳥類目録第7版に準じています

## ① キジ（雉）キジ科



●全長：♂80cm ♀60cm

●翼開長：約77cm

林、草地、農耕地などで見られる（留鳥）。主に草の葉や種子を食べる。繁殖期に雄はケーンケーンと鳴いてドランギングをする。雄は鮮やかな羽色と長い尾羽が特徴。日本の国鳥。

## ② カルガモ（軽鴨）カモ科



水生植物区に時々現れる

●全長：61cm

●翼開長：約90cm

河川、湖沼、公園などで見られる（留鳥）。水生植物や地上の草の葉や種子を食べる。雌雄同色でほぼ褐色。くちばしは黒色で先端は黄色。

## ③ キジバト（雉鳩）ハト科



園内でごく普通にみられる

●全長：33cm

●翼開長：55cm

平地から山地まで普通に見られる（留鳥または漂鳥）。主に植物の種子を食べる。雌雄同色で体は灰褐色。山鳩とも呼ばれる。

## ④ カワウ（河鵜）ウ科



●全長：82cm

●翼開長：129cm

河川や湖などでふつうに見られる（留鳥一部で冬鳥）。潜水して魚類を食べる。雌雄同色で全身黒色。

## ⑤ アオサギ（蒼鷺）サギ科



水生植物区にしばしば現れる

●全長：93cm

●翼開長：約160cm

河川、湖沼、水田などで見られる（留鳥）。魚類やカエル、甲殻類などを食べる。雌雄同色で主に白色と青灰色。日本のサギ類の中では最大。

## ⑥ ダイサギ（大鷺）サギ科

水生植物区にしばしば現れる



- 全長：90cm
- 翼開長：約130cm
- 河川、湖沼、水田などで見られる（夏鳥または漂鳥）。魚類やカエル、甲殻類などを食べる。雌雄同色で全身白色。日本のシラサギ類の中では最大。

## ⑦ コサギ（小鷺）サギ科

水生植物区にまれに現れる



- 全長：61cm
- 翼開長：98cm
- 河川、湖沼、水田などで見られる最も身近な白鷺（留鳥）。魚類やカエル、甲殻類などを食べる。雌雄同色。全身白色で嘴は黒く趾は黄色い。

## ⑧ トビ（鳶）タカ科

- 全長：♂59cm ♀69cm
- 翼開長：157~162cm

河川、農耕地、山地などで普通に見られる（留鳥）。魚や昆虫などのほか動物の死骸や残飯も食べる。雌雄同色でほぼ茶褐色。



## ⑨ ツミ（雀鷹）タカ科

林地で繁殖することもある



- 全長：♂27cm ♀30cm
- 翼開長：51~63cm
- 平地から山地の林で見られる（留鳥）。主に小鳥類を食べる。キジバトより少し小さい小型のタカ。雄の下面是白く胸から脇は淡い橙色。雌の下面是横斑がある。

## ⑩ カワセミ（翡翠）カワセミ科

水生植物区にしばしば現れる



- 全長：17cm
- 翼開長：25cm
- 平地から低山の河川、湖沼などで見られる（留鳥または漂鳥）。小魚や水生小動物を食べる。雌雄同色であるが、雌の下嘴は橙色。繁殖期に雄は雌に求愛給餌を行う。

## ⑪ コゲラ（小啄木鳥）キツツキ科

園内で繁殖することもある



- 全長：15cm
- 翼開長：26cm
- 平地から低山の林、公園などに生息し、普通に見られる（留鳥）。昆虫や果実などを食べる。雌雄同色であるが、雄の後頭部は僅かに橙色の羽がある。枯れ木や半枯れ木に巣穴。

## ⑫ アカゲラ（赤啄木鳥） キツツキ科

園内で見かけることもある



- 全長：24cm
- 翼開長：39cm
- 平地から山地の林で見られる（留鳥）。昆虫や果実などを食べる。雌雄ともに頭上から尾までの上面は黒色、下腹と下尾筒が赤く、雄は後頭部が赤い。生木や枯れ木に巣穴。

## ⑬ アオゲラ（緑啄木鳥） キツツキ科

園内で繁殖することもある



- 全長：29cm
- 翼開長：49cm
- 平地から山地の林に生息し、やや普通に見られる（留鳥）。昆虫や果実などを食べる。雌雄ともに背から尾までの上面は黄緑色。頭上部の赤色は雄のほうが大きい。日本固有種。

## ⑭ サンコウチョウ（三光鳥） ヒタキ科



- 全長：雄45cm 雌18cm
- 翼開長：28cm
- 平地から低山の林で見られる（夏鳥）。頭部から胸は黒紫色で、雄の尾は長いもので28cmにもなる。林の中を飛びながら昆虫を食べる。雄雌ともにアイリングはコバルトブルー。

## ⑮ モズ（百舌）モズ科

冬季は園内で見られる



- 全長：20cm
- 翼開長：27cm
- 平地や山地の林縁、河原、農耕地などで見られる（留鳥または漂鳥）。雄は頭上が茶褐色で、黒い過眼腺がある。雌の下面には鱗状の横斑がある。主に昆虫を食べる。捕らえた獲物を木の枝などに刺すばやにえの習性がある。

## ⑯ オナガ（尾長）カラス科

園内でふつうに見られる



- 全長：37cm
- 翼開長：40cm
- 人家周辺、農耕地、公園で見られる（留鳥）。雌雄同色で、頭は黒く翼や尾は水色。主に果実や昆虫を食べる。

## ⑰ ハシボソガラス（嘴細鳥） カラス科

園内で見られる



- 全長：50cm
- 翼開長：100cm
- 市街地、農耕地、河原で見られる（留鳥）。雌雄同色で、全身光沢のある黒色。雑食性で動物質、植物質何でも食べる。

⑯ ハシブトガラス（嘴太鳥）  
カラス科

園内でふつうに見られる



- ・全長：56cm
- ・翼開長：105cm
- ・市街地、農耕地、河原で見られる（留鳥）。ハシボソガラスより大きく嘴が太い。雑食性で動物質、植物質何でも食べる。

⑰ コガラ（小雀）  
シジュウカラ科

- ・全長：13cm
- ・翼開長：21cm
- ・低山から亜高山の林で見られる（留鳥）。雌雄同色で、翼は暗灰褐色、体の下面は白い。昆虫や種子を食べる。

⑱ ヤマガラ（山雀）  
シジュウカラ科

冬季に林地で見ることが多い



- ・全長：14cm
- ・翼開長：22cm
- ・平地から山地の林で見られる（留鳥）。雌雄同色で、背と体の下面は橙褐色。昆虫や種子を食べる。

⑲ ヒガラ（日雀）  
シジュウカラ科



- ・全長：11cm
- ・翼開長：17cm
- ・平地から亜高山の林で見られる（留鳥）。雌雄同色で、頭部と喉は黒い。日本産カラ類で最小。昆虫や種子を食べる。

㉑ シジュウカラ（四十雀）  
シジュウカラ科

園内で繁殖し、普通に見られる



- ・全長：15cm
- ・翼開長：22cm
- ・平地から山地の林で普通に見られる（留鳥または漂鳥）。頬は白く、頭部と喉は黒い。腹の黒帯が雄は太く雌は細い。昆虫や種子を食べる。

㉒ ヒバリ（雲雀）ヒバリ科

- ・全長：17cm
- ・翼開長：32cm
- 草地、河原、農耕地などで見られる（留鳥）。主に植物の種子や昆虫を食べる。雌雄同色で頭上から尾までの上面は褐色。頭に冠羽がある。地上と空中でさえずる。

## ㉔ ツバメ (燕) ツバメ科



- ・全長：17cm
  - ・翼開長：32cm
- 市街地、河原、農耕地などで普通に見られる（夏鳥）。飛翔しながら昆虫を食べる。雌雄同色で額と喉は赤い。

## ㉕ イワツバメ (燕) ツバメ科



- ・全長：13cm
  - ・翼開長：30cm
- 市街地や山地の岩場で見られる（夏鳥）。ツバメより少し小さい。もともとは山地の岩場に営巣していた。飛びながら昆虫を食べる。雌雄同色で腰と体下面は白い。

## ㉖ ヒヨドリ (鶲) ヒヨドリ科

園内で普通に見られる



- ・全長：28cm
  - ・翼開長：40cm
- 平地から山地で普通に見られる（留鳥または漂鳥）。雌雄同色で、全体に灰褐色。北方や山地のものは冬に暖地に移動する。昆虫、果実、花の蜜などを食べる。飛び方は波状飛行。

## ㉗ ウグイス (鶯) ウグイス科

冬季は林地に現れることもある



- ・全長：雄16cm 雌14cm
  - ・翼開長：雄21cm 雌17cm
- 平地から山地の林、河原などで見られる（留鳥または漂鳥）。雌雄同色であるが、大きさは異なる。頭部から尾の上面がオリーブ褐色。昆虫や草の種子を食べる。日本三鳴鳥の一つ。

## ㉘ エナガ (柄長) エナガ科

園内で繁殖することもある



- ・全長：14cm
  - ・翼開長：16cm
- 平地から山地の林で見られる（留鳥または漂鳥）。短い嘴に長い尾。雌雄同色で、翼と尾は黒く、体は白い。小さな昆虫やクモを食べる。

## ㉙ メジロ (目白) メジロ科

園内で見られる



- ・全長：12cm
  - ・翼開長：18cm
- 平地から山地の林、公園などで見られる（留鳥または漂鳥）。雌雄同色で頭部から尾までの上面は暗黄緑色。目の周りが白いのが特徴。昆虫を食べ、果実や花の蜜も好む。

⑩ オオヨシキリ（大葦切）  
ウグイス科



- ・全長：18cm
- ・翼開長：26cm
- ・河原、湖沼の葦原で見られる（夏鳥）。雌雄同色で頭部から尾の上面が黄褐色。主に昆虫やクモを食べる。鳴き声から行々子と呼ばれる。

⑪ セッカ（雪加）  
ウグイス科



- ・全長：13cm
- ・翼開長：16cm
- ・草地、河原、湖沼の葦原で見られる（留鳥または漂鳥）。雌雄同色で体の上面は黄褐色と黒褐色の縦斑状。主に昆虫やクモを食べる。

⑫ ミソサザイ（鶲鶲）  
ミソサザイ科



- ・全長：11cm
- ・翼開長：16cm
- ・河川の中・上流、特に山地の渓流で見られる（留鳥または漂鳥）。雌雄同色で、全身暗茶褐色。昆虫やクモなどを食べる。一夫多妻で繁殖。

⑬ ムクドリ（椋鳥）ムクドリ科



園内でふつうに見られる

- ・全長：24cm
- ・翼開長：40cm
- ・人家周辺、農耕地、公園で見られる（留鳥または漂鳥）。全身ほぼ黒褐色で、雌は雄より淡い。主に果実や昆虫を食べる。

⑭ カワガラス（河烏）  
カワガラス科



- ・全長：22cm
- ・翼開長：32cm
- ・河川の中・上流、特に山地の渓流で見られる。（留鳥）。雌雄同色で、全身黒褐色。水中に潜り水生昆虫や魚を捕らえて食べる。

⑮ シロハラ（白腹）ツグミ科



冬季の園内林地で見られる

- ・全長：25cm
- ・翼開長：40cm
- ・平地から低山の林、公園で見られる（冬鳥）。雌雄同色で体の上面は茶褐色で下面は白色。昆虫や果実などを食べる。

### ③⁶ ツグミ（鶲）ツグミ科

冬季に園内で普通に見られる



- 全長：24cm
- 翼開長：39cm
- 平地から山地の林、河原、農耕地、公園で見られる（冬鳥）。ほぼ雌雄同色で茶褐色～黒褐色で喉は淡黄白色。昆虫や果実などを食べる。

### ③⁷ ルリビタキ（瑠璃鶲）ツグミ科

- 全長：14cm

- 翼開長：22cm

冬季は平地から山地の林、公園で見られる（留鳥または漂鳥）。雄は頭部から尾まで上面は青色。雌は上面オリーブ褐色。昆虫や果実を食べる。亜高山の針葉樹林で繁殖。



### ③⁸ ジョウビタキ（常鶲）ツグミ科

冬季は園内で見られる



- 全長：15cm
- 翼開長：22cm
- 平地から山地の林、河原、公園、庭先で見られる（冬鳥）。雄は頭部が灰白色で顔や翼は黒く、胸からの下面是赤橙色。雌は上面が褐色。昆虫や果実を食べる。別名紋付鳥。

### ③⁹ キビタキ（黄鶲）ヒタキ科

- 全長：14cm

- 翼開長：22cm

低山から山地の林で見られる（夏鳥）。雄は頭部から背、肩羽、尾が黒色で、喉から胸は橙色を帯びた黄色。雌は上面がオリーブ褐色。昆虫や木の実を食べる。



### ⑩ オオルリ（大瑠璃）ヒタキ科



- 全長：16cm
- 翼開長：27cm
- 低山から山地の主に沢沿いの林で見られる（夏鳥）。雄は頭部から尾までの上面が青色。雌は上面がオリーブ褐色。主に昆虫を食べる。日本三鳴鳥の一つ。

### ⑪ スズメ（雀）ハタオドリ科

園内でふつうに見られる



- 全長：14cm
- 翼開長：23cm
- 人家周辺、農耕地、河原、公園で見られる（留鳥）。雌雄同色で、全体ほぼ褐色で、白い頬に黒斑がある。雑食で、植物の種子や昆虫などを食べる。

## ④ キセキレイ (黄鶺鴒)

セキレイ科



・全長：20cm

・翼開長：26cm

平地から山地の水辺で見られる（留鳥）。腰や下面は黄色い。夏羽では雄は喉が黒い。冬羽は雌雄とも喉が白い。昆虫やクモなどを食べる。飛び方は波状飛行。

## ⑤ ハクセキレイ (白鶺鴒)

セキレイ科

冬季は園内でしばしば見られる



・全長：21cm

・翼開長：30cm

平地から山地の水辺で普通に見られる。（留鳥または漂鳥）。ほぼ白と黒色で、顔、体下面が白色。夏羽では頭上から体上面と胸が黒色。冬羽は背や肩羽は灰色。主に昆虫を食べる。飛び方は波状飛行。

## ⑥ セグロセキレイ (背黒鶺鴒)

セキレイ科



・全長：21cm

・翼開長：30cm

平地から山地の水辺で見られる（留鳥）。雌雄ほぼ白と黒の2色で、顔は黒い。夏羽では頭上から体上面と胸が黒色。昆虫やクモなどを食べる。飛び方は波状飛行。日本固有種。

## ⑦ カワラヒワ (河原鶲)

アトリ科

園内で見られる



・全長：15cm

・翼開長：24cm

平地から山地の林、河原、農耕地で見られる（留鳥または漂鳥）。雄は全体がほぼオリーブ褐色で、雌は雄に比べて淡い。主に植物の種子を食べる。



## ⑧ ベニマシコ (紅猿子)

アトリ科



・全長：15cm

・翼開長：21cm

本州以南では、冬季に平地から山地の林、河原などで見られる（北海道・下北半島で夏鳥）。雄は全体が赤色を帯び、雌は淡黄褐色。主に草の種子を食べる。

## ⑨ シメ (鶲) アトリ科

冬季は園内で見られる



・全長：19cm

・翼開長：31cm

秋冬は平地から山地の林、公園で見られる（漂鳥）。冬羽は全体に灰褐色で、雌はさらに淡い。主に植物の種子を食べる。



## ニセアカシアの木で休息するシメ



## ④⁹ イカル（鶲）アトリ科

- 全長：23cm
- 翼開長：33cm
- 平地から山地の林で見られる（留鳥または漂鳥）。雌雄同色で、体はほとんど灰色。嘴は黄色。雌は灰褐色を帯びる。主に植物の種子を食べる。



## ⑤⁰ ホオジロ（頬白）ホオジロ科



- 全長：17cm
- 翼開長：24cm
- 平地から山地の草地、河原などで見られる（留鳥または漂鳥）。雄は全体がほぼ茶褐色で頬が白く、雌は雄より淡い。昆虫や植物の種子を食べる。